

ブラックスワン理論

新しいリスク考える上で必須に

【ポストマガジン8月20日号】今回の不況では、保険業界は銀行と異なり、これまでのところトラブルを回避してき

た。しかし、このことはどの程度モデリングを効果的に利用できたお陰だったのだろうか、今後問題回避が可能なのだろうか。ラッセル・ゴードン氏が今後のモデリングの可能性について鍵となるマーケット像を明らかにする。

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

らな。銀行業界は貪欲で利己的だと見られ、また歴史から学んでいないと糾弾され、社会から指弾を受

けている。一方保険業界は、今までのところ、リスクに対応しているように見える。4月に、ゴールドマン・サックスの会長兼CEO、ロイド・ブランク

「反対に、チューリッヒの現最高投資責任者で次期最高経営責任者に指名されているマーチン・ゼン氏は8月第3週、一当社は慎重だったので金融危機を乗り切ることができた。魅力的だがリスクのある投資より、企業収

早期警戒プロセスの組み込みを

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

らな。銀行業界は貪欲で利己的だと見られ、また歴史から学んでいないと糾弾され、社会から指弾を受

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

シナリオモデリングは切れ味の良い成果をもたらす

スイス再保険のシナリオレポート最新版、『保険のシナリオ分析』では、保険会社に対して、リスクを測定し、正確に価格付けするようシナリオモデリング採用の必要性を訴えている。

カール博士はスイス再保険の経済研究コンサルティング部門のヘッドだが、シナリオは意思決定を円滑に進めるのに有効な方法であり、非常に不確実な出来事から生じる結果や組織の利益と競合ポジションに与える影響度を分析するのに用いることができると説明する。

同博士はシナリオを、極度状況でのリスクの相関関係を評価するためだけでなく、複数のリスクを定量的に評価するのに使ったり、特定の営業種目への参入もしくは撤退を決めるのに使ったりできると付け加える。

カール博士は「シナリオ分析は保険業界に幾つかの利益をもたらしている。計画や戦略のためだけでなく、企業リスクマネジメントのためにも使うことができ、そのことで、企業の財務成績全般の改善が可能となる」とコメントし、「シナリオを主要な利害関係者とのコミュニケーションにも使うことができる。例えば、シナリオ分析は、保険会社が規制上の要求事項遵守を支援し、格付評価会社からより高い評価を受ける可能性を高め、投資家に対して保険会社のリスクを明らかにしたりする。技術の進歩や競争上の圧力、監督者や格付評価会社強化に伴い、シナリオ使用は増えることになるだろう」と述べる。

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな



「経営戦略推進や意思決定支援に役立つよう、金融モデリングの活用を

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

歴史の過

ウィルス・リーの上席副社長、デービット・イングラム氏は「保険会社の間でさえもモデルはモデル作成者だけが都合が良く、歴史をろ過する傾向がある。モデルはユーザーが入れたデータにも相互関連した複数情報の流れを操作する能力には限界があり、本当に単純な場合を除けば、意思決定を行う際に多少とも手助けとなるモデルを必要としている」と指摘し、モデルが重要な役割を演じていることを認めている。

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

「今でははっきりしているが、会社の経営者たちは自分たちが向き合っている実際の経済的リスクの大きさを理解しな

(8面からつづく)
む」と付け加える。

シナリオに関する作業はホライズン・スキヤニング(シナリオ分析の一つで、長期の潜在的な開発を調べる手法)の主要部分で、イングラム氏は「いわゆる、ブラックスワンのテストについて述べているが、それは通常の経験域の外側で起きる出来事についてだ。」

ブラックスワン理論とは、エッセイストのナシム・タベル氏の著書からそのように呼ばれているのだが、コンピューター

の発明やインターネットの隆盛、そして2011年9月11日のテロ攻撃など重要な科学的発見や主要な歴史的出来事のほと

んど全部はブラックスワンの出来事だということだ。この言葉は18世紀の黒鳥(ブラックスワンの発見からきており、全ての白鳥は白いと証明されたものだ。)

イングラム氏は「一般に保険会社は箱の外のことを考えないことで知られているが、保険会社が業務に影響を与えるリスクについて真剣に検討を始めることになれば、こうしたことは致命的だ」と話す。

彼は、アスベスト賠償やシリコン賠償など過去の事例を例に挙げて、「新たに発生するリスクは政治的変化や法的変化、市場の変化もしくは

物理的な環境変化から生じることが多い。もう一つの事例として、ナノテクノロジーや遺伝子組換え食品、気象変化から生じる問題が上げられる。最近、銀行や金融機関が住宅ローン損失で被った問題もまた、新たなリスクとみなされるだろう。

主張している。同氏は、モデルや数理的専門知識と並んで、保険会社の文化風土によっても未知のリスクについて洞察を得ることが可能となる、と言う。そこでは次のようなことが推奨されているからだ。すなわち、新しいリスクにつ

いて一般に利用できる情報の検索、部門横断で知識を共有する多重的専門ミーティング、現行知識の極域を探索するワークショップ、『われわれに

関係ない』という感覚的な思考より『もし、何だ』という論理的な

無限の多様性

思考の重視、発生するまだが、ほとんどの新しいリスクは定義上確率が低いと見なす厳格さの重視、そして意見を事実と同様に有益だと受けとめる内部報告制度だ。

イングラム氏は「産業界では、保険業界でよく知られている数理的・確率的技法は同じ程度には応用されてこなかったが、シナリオ分析は非常に進んでいる。不確実性にシナリオ分析は保険部門でも浸透しつつある」と指摘する。

モデリング技法の進歩で、自分たちが実行している作業やその意図について確実に理解するよう圧力がかかっているのは明らかだ。また、そうしたモデルを評価し、監視することができると高度な能力を持つ社員を確保しな

ければならない監督者にとっても、大きな課題だ。

バーネル氏は「モデルをより精密化して、複雑なマーケット行動を把握することは、その達成課題でないわけではない。ただし、数学的に精密化されたために、モデルの細部について理解しているのは組織内のわずかな人たちだけというのでは、企業統制上の問題が生じる。こうしたことで

経済モデルを取り巻くプロセスやコントロールが以前より重要なものになっている」と言う。

グリーリー氏は「監督者や監督機関は、そうしたプロセスが企業の文化風土に組み込まれている

経済モデルのプロセスとコントロール重要に

か、また、モデリングが意思決定を向上させるためにフィードバック回路のある日常プロセスになっているかどうかを見ようとしている。変数化や実行段階での文書化、および注意深い生成やバージョン管理も必要要件だ。内部であれ、外部からあれ、数理に力点を置いていない会社は、要求される管理と関連する文書と並んでモデリングの文化風土を取り入れ、血肉化することに苦しむことになるだろう。この分野へ向けてキアを切り替えるよう圧力がかかっているのだ」と結論付けている。(「ポストマガジン」特約)